

テーマ
3

カードだけで買い物ができる ～「クレジット」の仕組み～

お店のレジで、「クレジットカードで」の一言でお支払い。なんだかちょっとカッコいいよね。でも、どうしてカードだけで買い物できるんだろう？
使い方を間違えると、便利どころか、大変なことになってしまうかもしれないので、しっかり学んでおこう。

1 クレジットカードとは

クレジットカードとは、買い物や食事などの代金を後払いにできるカードのことです。①支払機能や②借入機能があり、銀行のキャッシュカードとは機能が異なります。

| | |
|--------|---|
| 支払機能 | お店のレジなどでクレジットカードを提示し、本人のサインや暗証番号で、商品やサービスを買うことができる機能です。最近では、インターネット通販の支払いなどにも使用されるようになってきています。 |
| 借入機能 | クレジットカードには、買い物での支払いだけでなく、お金を借りるキャッシング機能も付いています。利用限度額（極度額）が決められていて、指定のATMなどで現金を受け取ることができます。 |
| その他の機能 | カードを提示して所有者本人であることを示す「身分証明書」としての機能（ID機能）や、付属サービスとして、指定のお店などでの割引やポイントサービス、盗難保険や旅行保険が付いているカードもあります。 |

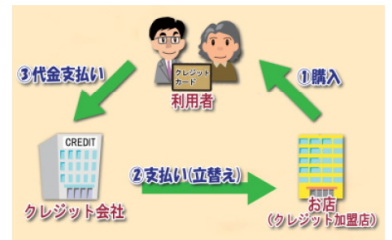
2 クレジットカードでの買い物の仕組み

クレジットカードの「クレジット (credit)」は英語で「信用」という意味です。つまり、信用のある人でないとすることができません（「信用」についてはテーマ2に詳しく書いてあります）。

クレジットカードは「三者間契約」です。まずは「利用者」。これはカードを持っている人のことです。次にカードを発行してくれる「クレジット会社」。そして、カードでの支払いができるお店（クレジット加盟店）です。

利用者が買った物の代金を一旦クレジット会社がお店に払い、後から、利用者がクレジット会社に代金を支払う、というのがクレジットカードでの買い物のお金の流れです。この際、クレジット会社はお店から売上の数%を利用料として受け取ることが一般的です。また分割払いなどは、利用者からも金利を受け取ります。

クレジット会社は、利用者の代わりにお店に支払いをしなければならぬので、**カードの発行にあたっては利用者が「必ず後で払ってくれる」という「信用」が必要**なのです。またクレジットでの買い物は、**利用者がクレジット会社からお金を借りるのと同じこと**です。欲しいものを手に入れたら、必ず**支払う（返す）**ことを忘れてはいけません。



3 計画的な利用が大切

クレジットカードを使って分割で「物」を買う場合、金利がかかります。1回で支払う場合とどれくらい差が出るのでしょうか。

(例)

10万円の商品を金利12%・12回の分割払い（元利均等返済）で買った場合

1回払い の支払金額… 100,000円

12回払い の支払総額… 106,620円

差額（金利） 6,620 円



このように金利は決して低いものではありませんので、注意が必要です。また、クレジットで買うということは、ローン同様、**将来の収入（お金）の使い方を先に決めてしまうこと**です。特にクレジットカード

での買い物はお金を使っている感覚が少なく、使いすぎてしまうこともありますので、自己管理がとても大切です。

クレジットカードのメリット・デメリット

メ リ ッ ト

- ① **後払いにすることができる** いま手元にお金を持っていなくても、カードを使えば、後からの支払いにすることができます。
- ② **通販などでの支払いが簡単** インターネットなどの通信販売で物を買った場合、クレジットカードがあれば、カード情報を相手側に登録することで、支払いができる場合があります。
- ③ **現金をたくさん持ち歩かなくてもよい** 例えば高価な物を買うときや、海外へ行くときなど、現金をたくさん持って歩くと危険な場合には、クレジットカードがあれば、カードだけで買い物ができるので便利で安心です。
- ④ **分割払いにすることができる** 高価な物などを買う場合、一度に支払うには負担が大きいときは分割払い(3回から24回など)にすることもできます。

デ メ リ ッ ト

- ① **使いすぎる(借りすぎる)心配がある** お金を使っている感覚がなかったり、いくらカードで買ったか分からなくなってしまうことがあります。後からお金が足りなくならないよう、買う物と支払いの計画をしっかりと立てることが必要です。またキャッシング機能では、簡単にお金が借りられるので、借りすぎに注意が必要です。
- ② **悪用される危険がある** 落としたカードを拾われたり、またインターネット上で登録したカード情報が盗まれたりすると、勝手に使われてしまう危険があります。しっかりとした管理が必要です。
- ③ **分割払いなどは金利がかかる** 分割払いにすると、分割回数などに応じて、所定の金利がかかります。後から「思ったよりもお金がかかった」ということがないように利用することが必要です。

本日の学習のまとめ ～計画性を持って、便利に使おう～

- point 1 **クレジットカードには、「支払機能」と「借入機能」などがあります**
- point 2 **収入とバランスのとれた利用額、支払方法の選択が必要です**
- point 3 **クレジットカードでの買い物は、一旦クレジット会社が立替払いをしてくれるので、利用者は後からお金を支払います**

*** コラム カードは増えるよ、どこまでも ***

皆さんのお財布の中には、いま何枚「カード」が入っていますか?このテーマで説明した「クレジットカード」も、カードの仲間です。クレジットカードのほか、金融機関が発行するカードでは、銀行の「キャッシュカード」、消費者金融などの「ローンカード」などがあります。それ以外にも、先に代金を払い、お金の代わりに使える「プリペイドカード (prepaid:先に払う、という意味です)」、関東・近畿などの大都市圏で普及が進んでいる、交通機関に乗車の際などで使える「Suica」、「PASMO」、「ICOCA」などのカードもあります。皆さんの持っている学生証もカードの一種ですし、いろいろなお店で発行している「ポイントカード」なども立派なカードです。使い方や機能、持ち運びやすさなどから便利な「カード」はどんどん増えていきますが、個人情報や大切な財産が入ったカードもたくさんあります。ぜひしっかりと保管と管理を心がけてください。